輸出事業計画

※申請者名:越後製菓株式会社、品目:米菓、パックご飯、包装餅

1. 輸出における現状と課題

【現状】

新潟県産コシヒカリ米100%を使用し、独自技術の高圧技術で加工した無菌包装米飯「日本のごはん」と新潟県産もち米を90%以上使用した米菓子(米菓)「ふんわり名人(きなご餅、チーズもち)」は県産米にごだわった当社の主力商品であり、海外での需要が十分に見込めることから、JETROの協力の下、積極的に商談を行っているところである。さらに、商談を行う中で、ターゲット国からパックご飯と包装餅についても高い興味を示されていることから、パックご飯と包装餅についても海外に向けた製品開発及び生産を検討し本格的な輸出に繋げていきたいと考えている。

特に米菓子(ふんわり名人)については、北米で開催された展示会で高評価が得られ、2020年から2021年にかけ商談、販売までつなげることができた。

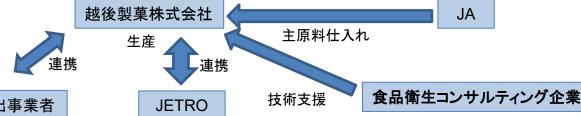
【課題】

- ・今後さらに販路を拡げるためには、原料の安定確保を図るとともに、輸出先のニーズに合わせた商品の開発が必要。
- ・輸出量を伸ばすにあたり、安定した原料確保および製造ラインのFS-B認証の維持が課題となる。
- ・事前調査にて選定した輸出ターゲット国のニーズの把握

2. 輸出事業計画の取組内容

- ・国内での商品需要も拡大傾向にあることから、さらに産地育成によって安定した原料確保を行いながら、輸出向け商品の生産を 実施する。
- ・輸出ターゲット国の規制や品質的な要求にも対応するため、JFS-B規格に対応した設備の改修等も進める。
- ・事前調査で選定した輸出対象とする候補国(米国、韓国、香港、台湾、マレーシア、オーストラリア、タイ、シンガポール、UAE 等)に対して、日本貿易促進機構(ジェトロ)新潟事務所より全面的な協力を頂き、海外市場調査・試験販売等により市場性や商品ニーズの調査を実施していく。
- ・並行してニーズに合わせた商品仕様の検討や法的規制の調査も実施する。関係機関との連携として、県内生産者(JAえちご上越、JAえちご中央)、全農新潟県本部、当社、ジェトロ新潟にて連携し事業の進捗確認を図っていく。

3. 輸出事業計画の実証と見直しを行うためのPDCA実施体制



輸出事業者 輸出・情報共有

市場調査、現地交渉の協力

JFS-B適合監査、品質についての指導・助言

4. 輸出目標額

米菓	現状(令和2年)	目標年(令和9年)
輸出額(千円)	97,897	250,000
輸出量(t)	83.5	296
輸出先国	韓国、香港、台湾、米国、その他	韓国、香港、台湾、米国、その他
パックご飯	現状(令和2年)	目標年(令和9年)
輸出額(千円)	598	700
輸出量(t)	0.4(原料米換算)	0.8(原料米換算)
輸出先国	香港、台湾、タイ、オーストラリア、スイス	米国、香港、台湾、マレーシア、オーストラリア、 タイ、スイス
包装餅	現状(令和2年)	目標年(令和9年)
輸出額(千円)	28,769	30,000
輸出量(t)	32	60
輸出先国	米国、香港、台湾、オーストラリア、カナダ、タイ、 インドネシア、UAE、スイス	米国、香港、台湾、オーストラリア、カナダ、タイ、 インドネシア、UAE、スイス